

開催にあたって

ふじみ福祉フォーラム 21 とは、市民に対して地域の福祉やボランティア活動に関する理解と参加を促す学習の機会を提供し、市民の主体的な社会参加を促進することを目的として活動する市民団体です。平成 4 年の富士見市市制施行 20 周年記念事業の 1 つとして開催されて以降 30 年以上にわたり市民自ら企画・運営を行ってきました。

34 回目となる今回のテーマは「認知症」。アルツハイマー型認知症を患った 80 代の実母とそれを支える 90 代の実父の老々介護生活を追ったドキュメンタリー映画『ぼけますから、よろしくお願いします。』を自ら撮影・制作した信友直子氏が講演を行います。パネルディスカッションでは、本市の認知症支援体制や患者への適切な関わり方について、地域の医療・福祉従事者の皆さんとともに、意見交換を行います。



講師・信友直子氏

広島県呉市。この街で生まれ育った私（監督・信友直子）は 18 歳で大学進学のために上京して以来、40 年近く東京暮らしを続けている。一人っ子の娘が故郷を離れ結婚もせずに好きな仕事に没頭している姿を、両親は文句も言わず遠くから見守っていた…

自らの乳がんを機に、故郷の思い出作りのために「家族の記録」を撮り始めたのだが、撮ったテープの中に少しずつ母のほころびが見え隠れしてきた。

母はアルツハイマー型認知症の診断を受け、その時から 90 歳を超えた父が 80 代後半の母を介護する日々が始まる。私は実家に帰ることも考えるが、父の「介護はわしがやる。あんたはあんたの仕事をせい」の言葉で思いとどまる。そして私は、両親の記録を撮ることが自分の使命だと思い始める。病気であることを突き付けられて苦悩する母、95 歳で初めてリンゴの皮をむく父、認知症の患者を抱えた家族の日々を、娘である私の視点から丹念に描き、どの家族にも起こりうる普遍的な問題としてとらえたドキュメンタリー映画を制作。

パネルディスカッション登壇者

- 信 友 直 子 氏／講演後にパネルディスカッションにもご参加いただきます。
- 中 村 ふ み 氏／越谷市在住。2021 年に認知症の診断を受ける。2023 年に埼玉県オレンジ大使に任命され、認知症について自らの経験や考えを発信している。（介添えのご家族の方も一緒に参加されます）
- 日 鼻 靖 氏／日鼻医院院長
- 土 川 秀 樹 氏／高齢者あんしん相談センターひだまりの庭むさしの管理者
- 清 水 美智子 氏／民生委員・児童委員。水谷南畑地区民生委員児童委員協議会会長

タイムスケジュール

- 11:15 ～ 開場
- 11:30 ～ 開会式
- 12:00 ～ 講演
- 13:15 ～ 休憩
- 13:30 ～ パネルディスカッション
質疑応答
- 15:20 ～ 閉会
- 15:30 ～ 模擬店開催
- 16:30 終了

\\ 会員を募集しています //

本会の趣旨に賛同し、ともに活動できる仲間を随時募集しています。

ご興味のある方は富士見市役所福祉政策課福祉政策係（TEL：049-252-7102）にご連絡ください。